

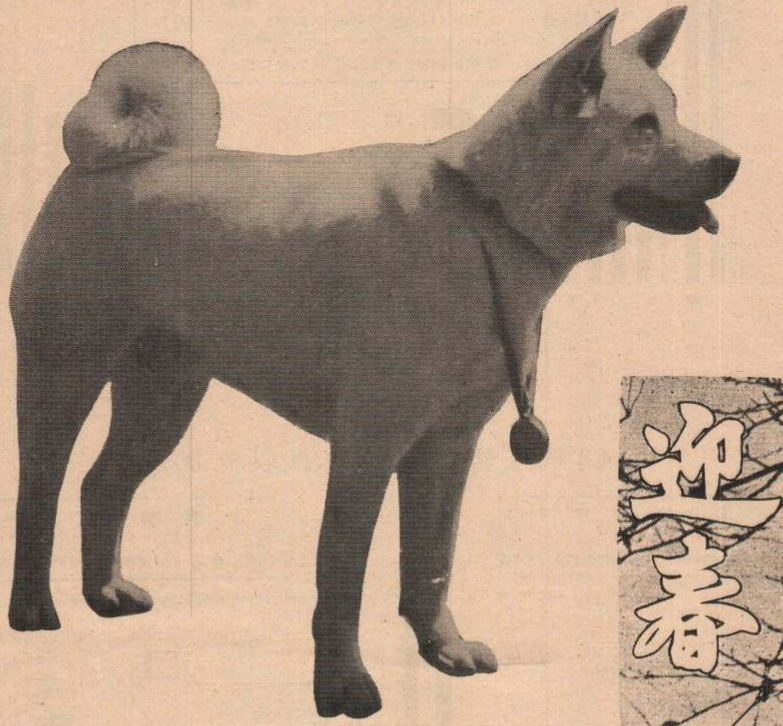
人 口	78,397	前月比	+36
{ 男 }	37,708		
{ 女 }	40,689		
世帯数	19,245		+28

# おおだて

編集と発行—大館市役所  
 発行年月日—昭和45年1月1日  
 発行日—毎月1日  
 定価1部5円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可

## 大館と秋田犬



ことしの干支は「イヌ年」です。名犬秋田犬の生誕の地であるわが大館市と、犬との縁は非常に古く、そして深い。

この機会に、大館が世界に誇る秋田犬の歴史についてふれてみよう。

◆秋田犬は、日本の有史以前の犬がもととなり、有史以後いろいろな影響を受け、それに地方的特色をむすびながら改良されて現代にいったものといわれています。

また、秋田犬は、武士や豪農に番犬、闘犬として飼育されたもので、昔から闘犬熱に刺戟され大館地方を中心として発達したので「大館犬」とも称せられています。

◆藩主時代の秋田犬—大館城主の佐竹侯は代々闘犬が好きで、闘犬によって武士の闘争心を養ったので、武士階級に闘犬熱が普及した。文化の発達しないこの時代は、秋田犬による闘犬が唯一の楽しみであったようです。

◆明治、大正時代の秋田犬—最も闘犬の盛んな時代で、住民があんまり無中になり、闘犬禁止令もでたこともあったそうです。とにかく、秋田犬が偉大なからだになった主な原因は闘犬のためであったわけですが、大正に入り、土佐犬の血が入り、新秋田種とまでいわれた闘犬が出来て、非常に秋田犬の純粋い味が危ぶまれた時代でありました。

◆昭和時代の秋田犬—昭和の初期も、い然として闘犬が盛んであったが、秋田犬古来のものを保存しようという運動が起き、秋田犬の先覚者である故泉茂家氏を中心に純粋い種保存のため尽力しました。また、このころ渋谷駅の「忠犬ハチ公」(大館産)の主人おもいの話題は、国内はもちろん、海外まで有名になり、純粋い種保存の向上に大いに力になったものです。

そして、昭和6年7月、その名犬さをかわれ日本犬では初の天然記念物の指定を受けております。

いまでは、大館産の純粋い秋田犬は(登録犬数約19万頭)国内はもとより、欧米各国の愛犬家のもとで、ふるさとを恋いながら、忠犬ハチ公におとらぬ忠臣ぶりを発揮していることでしょう。

### 〈新年のごあいさつ〉

## 8万市民のしあわせを第一に

大館市長 石川 芳 男



輝かしい新春に当り、市民のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、月着陸という人類の夢を実現した世紀の画期的事件をはじめ、沖繩問題の解決、大学問題、米価を中心とする農業の諸問題、そして国会解散など、内外ともにめまぐるしい年でありましたが、そのいづれもが歴史的な意義をもつものばかりでありました。

このような情勢下にあつて、わが大館市の施策はどのように進められたかを振り返りかえってみますに——まず、第1に

- ◆御成町2丁目の火災復興事業の急速な進歩、同じく、災害住宅の新築。
- ◆市道13路線の舗装。
- ◆継続事業としておりました市立総合病院の完成。
- ◆県内市町村初めての身障者福祉センターの建設。
- ◆市民のいこいと、青年の研修の場としての「峠の家」の建設。
- ◆水道給排水施設の改良および給水区域の拡張。
- ◆県立老人福祉センター誘致。
- ◆待望久しかった、東大橋架橋を含む国道7号線バイパスの市役所脇までの南下延長を、全額国費をもって施工、ということを取りつけることができたこと、など

これすべて、市民のご理解あるご協力の賜と衷心より感謝しております。

さて、新しい年を迎えて、私はまず、8万市民のしあわせのために、身近な諸問題に意欲的に取り組みたいと存じております。

すなわち、福祉関係 教育関係をはじめ、災害復旧や災害防止に努めると共に、経済の高度成長に伴う幾多の問題に対する、生活基盤の向上確立に関する 農林、商工、土木等にも積極的に施策をうち樹てたいと念じておりますので、格段のご支援をお願いする次第です。

ことしの干支は、当市と関心深い犬の年であり、威勢のいい「秋田犬」のように、また、ことしは市制施行20年という記念すべき年にもあたります。

この意義深い年の始めに、市民の皆さまと共に、郷土の飛ぶやうな発展を祈願いたします。



大館市議会議長

成 田 松 蔵

市民のみなさん、新年あけましておめでとうございます。

今年には戌年にあたりますが、本市にとっては、たいへん縁起が良い年と思っております。それはいうまでもなく、優良秋田犬の本場であり、忠犬ハチ公の生れ故郷でもありますので、大いに戌年にあやかり、黒鉱開発を機軸に、農工商の調和ある地方中堅都市として、飛躍的な発展をはかりたいと念じております。

また、市議会は61名というマンモス議会でありますが、総務財政常任委員会、厚生常任委員会、教育産業常任委員会、建設常任委員会をはじめ、公証対策特別委員会および市民交通対策委員会を構成し、それぞれの所管事項について、市民の意思代表機関として積極的な活動を続け市政の発展に寄与したいと決意をあらたにしておりますので、なお一層のご支援をお願いいたし、年頭のごあいさつとします。